

## (78) 栃木県粟野町の松坂鉦山跡

参考文献(1)を手引きに、栃木県粟野町中粟野にある松坂鉦山を探查した。これも、足尾山地に多数あるマンガン鉦山の1つである。車道から林道を5分~10分歩くと現地である。

この鉦山への経路は次の通りである。15号を足尾方向へと西に向かって進んでいく。口粟野の所で、右折し、246号線を北西方向へと進んでいく。右折してから約4kmほどで、中粟野地区に入る。粟野川に架かっている橋を渡ってから、200m~300mの所で、進行方向右側に林道がある。この林道の先が現地である。246号線脇には駐車場がある。ここに車を止めて、歩いていこう。北東方向に伸びている林道を5分~10分歩くと左側に、近年伐採が行われ、明るくなっている森の斜面、右側に沢の所に至る。このあたりが松坂鉦山跡である。斜面を良く見ると、マンガン鉦山跡らしい黒っぽい石のズリがある。この斜面に向かって、右側には石の祠がある。草木の生い茂った時期では見失うかも知れない。近づいて見ると「松坂鉦山」の名が入っている。正しく松坂鉦山跡である。

現地は、特に林道を整地したのであろう、参考文献の紹介内容と全く様相が異なっている。が、斜面下のあたり一体、沢の脇あたりで、マンガン鉦石が採集できる。バラ輝石を数個採集した。

探查日 2011年 2月、その他



図1 国土地理院2万5千分の1地形図「鹿沼」より。黄緑が潰れた坑口跡。茶の箇所がズリ。「神社」記号の所に、石の祠がある。

## 鉾山跡写真



写真1 北西に進行中の246号線から見た林道への入口である。写真の左手には自由駐車場がある。

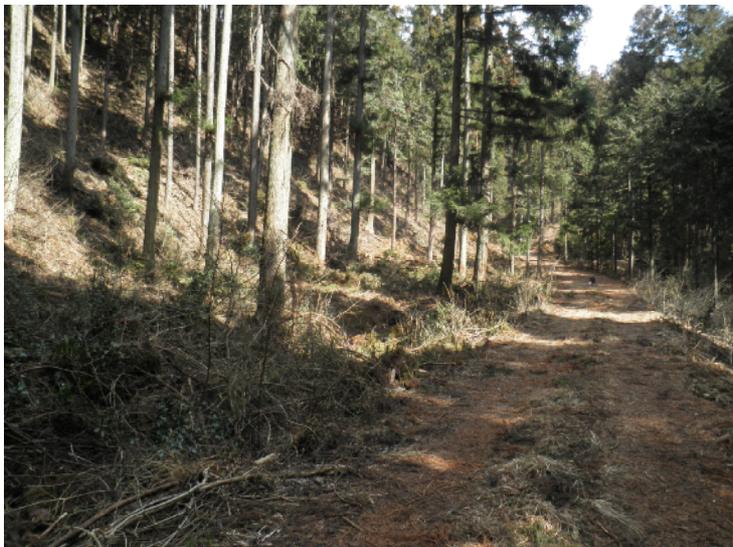


写真2 林道を入口から、歩いて5分～10分で現地に達する。左手の前方斜面にはズリ、坑口跡、祠がある。近年、木の間引きをしたらしい。森林は明るい。足元には切り落とした枝が一杯である。



写真3 写真2で紹介している斜面に向かって見ている。写真の中央上部奥に、潰れた坑口跡がある。写真5参照。写真右手中央付近に、石の祠がある。写真を拡大してみれば、よく見えるかも知れない。祠は次の写真4を参照。



写真4 祠の側面には、「昭和26年建立 松坂鉦山」の文字が見える。60年以上前には、優良な鉦山であったのであろう。



写真5 中央倒木の奥が、潰れた坑口跡。これより下全面にズリがある。

## 採集鉦物写真

バラ輝石を幾つか採集した。それ程の物ではないので、写真は未掲載。周りが真っ黒で、割ると、おいしそうな濃い茶色であるチョコレート色の石がたくさんあった。本当に「チョコレート鉦 成分  $Mn_2O_3 \cdot nH_2O$ 」なのであろうか。チョコレート鉦は、マンガン鉦の中で、優良鉦である。簡単にズリとして捨てるわけがないと思うのだが。ピンク色の石、周りの真っ黒な石、そして、前述のチョコレート色の石を採集した。学校で、試料の元素成分の同定が出来るESCA装置で、元素分析を試みた。ピンク色の石からは、マンガンのラインがでた。色とマンガンラインから、バラ輝石と判断した。チョコレート色の石からは、肝心のマンガンラインは出なかった。ピンク色の石に層状に形成されている薄い茶色の部分もESCAで分析してみた。マンガンラインがでた。同時に、シリコンのラインも出た。チョコレート色であり、マンガンラインが出たので、この層状部分は「チョコレート鉦+石英」なのかも知れない。

石の表面を真っ黒に覆っている部分もはぎ取って、ESCAで測定した。マンガンのラインが出た。二酸化マンガンである。

## 参考文献

(1)「鉦物採集の旅 関東地方とその周辺」、桜井、加藤共著、築地書館、1972年。